

平成29年度 発注企業及び受注企業の現況に関する調査 結果概要

○ 調査目的

県内の企業の個別の受発注方針、受注企業の設備導入状況の把握を目的とし、個別あっせんや商談会の効率的な開催につなげる。併せて県内の受発注企業の経営方針等についての動向を調査する。

○ 調査方法

調査方法：FAXにより、調査票を配布・回収

調査期間：平成30年1月9日～平成30年2月9日

○ 調査対象企業 及び 回答状況

発注企業：対象 422社 → 回答 82社 (回収率 19.4%)

受注企業：対象 1,856社 → 回答 496社 (回収率 26.7%)

○ 調査結果の概要

1. 発注企業の現況に関する調査

(1) 経営状況

- ・「現在の経営状況」は52.4%が「普通」、「今後の経営状況予測」は45.7%が「変わらない」と回答。業種による差異は見られたが、「現在」・「今後」共に「良い・やや良い」との回答が「やや悪い・悪い」を上回った。
- ・「今後の経営方針」については「現状維持」が45.1%、「事業拡大」が41.5%であった。

(2) 外注の状況

- ・前年比で見た「外注量」は「変化なし」が39.0%と最多、「外注単価」は「変化なし」が46.8%、「やや上昇」が41.6%であった。
- ・「増産計画」については「検討中・未定」が49.4%と最多、「計画あり」との回答は24.7%であった。
- ・「今後の外注方針」は「既存外注先に発注」が48.7%で最多、次いで「内製化」の38.5%、「新規外注先を開拓」の37.2%の順であった。
- ・「外注先の開拓方法」は「外注先企業からの営業」が52.9%と最多で、「各種展示会の視察」は32.4%、「商談会参加」は20.6%であった。

(3) 栃木県の重点分野での事業展開

- ・「現在展開中」は「自動車産業」の32.1%が最多、「今後の興味」は「環境産業」の10.0%が最多。

2. 受注企業の現況に関する調査

(1) 経営状況

- ・「現在の経営状況」は38.5%が「普通」、「今後の経営状況予測」は49.2%が「変わらない」と回答。業種による差異は見られたが、「現在」・「今後」共に「良い・やや良い」との回答が「やや悪い・悪い」を上回った。
- ・「経営上の問題」は「受注量の確保」の55.2%が最多、次いで「人手不足」の54.4%であった。「今後の方針」では「取引先開拓」の58.4%が最多。

(2) 取引先からの受注状況

- ・前年比で見た「受注量」は「やや増加」が36.1%と最多。「増加・やや増加」の計は46.9%で、「やや減少・減少」の計24.6%を上回った。「受注単価」については「変化なし」の71.4%が最多。
- ・「最大取引先からの割合」は「21%～40%」が34.1%と最多だったが、「61%～」との1社依存傾向の回答が21.8%あった。
- ・「新規受注のための活動」は「自社による開拓」が67.5%で最多、「他社・取引先からの紹介」は48.3%、「商談会への参加」は25.7%であった。

(3) 生産設備等の導入

- ・過去1年間の「新規導入又は更新」は45.2%、「工場等設置」は6.1%であった。

(4) 栃木県の重点分野での事業展開

- ・「現在展開中」のは「自動車産業」の45.7%が最多、「今後の興味」は「ロボット産業」の25.7%が最多。

(5) 海外展開の状況

- ・「海外展開の状況」は「関心がない」が66.4%、「展開している」が16.5%、「関心はある」が15.2%であった。「展開・計画先の地域」はアジア・東南アジアが79.0%で、「関心がある地域」でも75.0%を占めた。